

中部支部たより～「かごしま検定」と「薩摩藩士」～

副支部長 上原 繁 S37 機械卒

自宅(三重)の近くに木曾三川公園がある。中部地方の大河(揖斐・長良・木曾)の下流域である。この三川公園域は江戸時代まで大雨のたびに氾濫を繰り返すので地域一帯の住民は困窮していた。この難題の治水対策工事が江戸幕府から薩摩藩に下命、島津重年藩主は家老の平田靱負を総責にして、累計 900 人以上の薩摩藩士と資金、資材も調達させて犠牲者も伴いながら河川を清流させる堤防工事を 1753 年完遂させた。



報恩感謝の思いで堤防沿いに平田靱負を御祭神とする治水神社が創建されており、岐阜県美濃と鹿児島との公民交流が現在も続いている。

また、自宅北 40km に西暦 1600 年日本歴史の重要な転換点となった「天下分け目の決戦地」関ヶ原古戦場がある。西軍側の島津義弘と弟豊久ら 1500 人規模の薩摩軍も布陣したが豊久は戦死した。近くの上石津町に豊久の墓がある。

この時、義弘率いる薩摩軍の夜間撤収帰郷をたたえ照国神社(御祭神は島津斉彬公)から伊集院の徳重神社(御祭神は島津義弘公)までを夜歩く「妙円寺詣り」が今も続いていることは感慨深い。決戦の 153 年後、治水難工事に來た藩士達は豊久の墓に幾度も墓参したとある。

母校の校歌に「名君島津斉彬公」とあるが、殿様の名前を歌う校歌は稀と思う。支部や本部懇親会の折に殿様の名前を歌う時はいつもジーンとなるのは小生だけではないでしょう。

さて、題名のかごしま検定(商工会議所主催)について述べる。鹿児島県は南北 600km 東西 270km あり離島も多い。多様性があり魅力たっぷりの県内自然・歴史文化・地域の特徴・政治経済産業などから出題される。マスター・シニアマスター・グランドマスターの三段階ステップ検定で、小生は 2016 年第 30 回マスター試験を県外唯一の会場である東京目黒の三州倶楽部で受験した。選択式 50 題を 96 点で合格できた。テキスト以外の知識も得ることができて、大変有意義な時間を過ごすことができた。興味ある方は是非挑戦してみてください。

鹿工同窓会中部支部事務局 愛知県一宮市東島町二丁目 8 番地 IDECファクトリーソリューションズ株式会社内



事 務 局 長	静 岡 幹 事	三 重 幹 事	岐 阜 幹 事	愛 知 幹 事	幹 事 長	顧 問	副 支 部 長	支 部 長	支部役員・幹事					
木 佐 貫	長 江	安 部	米 玉	坂 本	下 忠	中 村	川 崎	山 崎						
達 一	喜 美	勝 守	達 勝	正 己	義 弘	三 月	光 志	上 隆						
56	43	41	51	42	58	54	50	45						
電	電	機	土	電	機	機	電	化	建	電	機	電	機	機

2018 年 6 月支部総会 名鉄ニューグランドホテル